



2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

## 防災・減災にむけたグローバルなメカニズム: ISDR システム

- ✓ ISDRシステムの目的:  
世界中の国レベル、コミュニティレベルにおいて災害のリスク、災害に対する脆弱性を軽減する
- ✓ ツール:  
兵庫行動枠組
- ✓ 媒体・動力:  
ISDR システム

*Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives*



2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

## なぜ災害に強い医療施設が重要なのか？

- **経済面:** 特に開発途上国において、医療施設の被災による医療サービスの停止にかかるコストは膨大である
- **保健と開発:** 病院、医療機関、医療従事者を災害から守ることで多くの生命を救い、ミレニアム開発目標を達成する
- **社会的、政治的な要請:** 病院・医療施設を災害から守ることは人道的、政治的な義務である

*Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives*

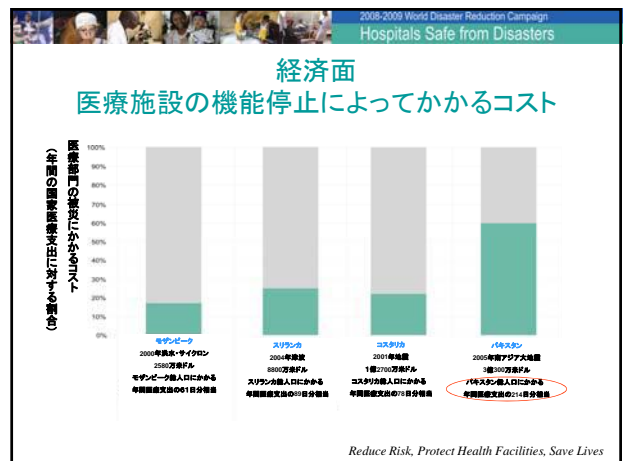
2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

## 経済面

### 医療施設の機能停止によってかかるコスト

- インド洋大津波の被害によりスリランカが要した支出は8,800万米ドルで、この額は総人口にかかる年間医療支出の89日分相当であった。
- 間接的なコスト、すなわち保健部門全体の効率や生産性の減退は、直接損害額をさらに上回る。
- その他の間接的なコスト、すなわち長期的な国民の保健、開発目標、景況等は数値には表れないものの、かなり大きなものである。

*Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives*



2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

### 保健面

#### 保健と開発のために災害に強い医療施設が必要

- 災害時に医療施設の機能が停止すると、助けられないはずの多くの生命が失われることになる
- 負傷者の処置が遅れるといったこと以上に、ミレニアム開発目標である国民の保健に長期にわたり悪影響を与えることになる
- 開発途上国ならびに災害に弱い地域において、災害は保健制度を崩壊させ、ミレニアム開発目標の到達に支障をきたす

Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives

2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

### 保健面

#### 保健と開発のために災害に強い医療施設が必要

- 2004年インド洋大津波: インドネシア、アチェで、全助産師の30%が死亡または行方不明になり、妊婦や新生児に対するケアに深刻な支障をきたした。
- 2005年イラン、ザランド地震: 医療施設が倒壊することを恐れて、生存者の搬入を拒んだため、病気の兆候をモニターし、予防措置をとるのに支障をきたした。

Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives

2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

### 社会的・政治的な要請

#### 失うものも多いが、得るものも多い

- ニューオリンズへハリケーンカトリーナが襲来した時、被災した病院から44名の遺体が収容され、行政の対応のひどさを目の当たりにして、米国のあらゆるレベルの政府機関に対する信頼は失墜した。
- 2007年のペルー地震の際、被災後1週間、病院での必要物資を、政府が指示してすべて補給するという適切な対応をとったことによって、ペルー大統領の支持率は5ポイント向上した。

Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives

2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

### 世界防災キャンペーン 2008-2009

#### 災害に強い医療施設

…主な推進項目は以下のとおり

**災害に強い構造:** 医療施設を構造的に災害に強いものにし、患者ならびに医療従事者の生命を守る

**医療サービスの継続:** 緊急時、被災時の最も必要とされるときに医療サービスが継続されるようにする

**医療従事者の能力構築:** 医療従事者ならびに医療機関の減災能力を構築する。これには緊急時の対応、危機管理計画が含まれる

Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives

2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

### メッセージ

- 災害は保健と開発に関わる問題である。
- 災害に強い医療施設を育てることは可能であり、かつ対費用効果が高い。
- 医療従事者は主たる防災実行者である
- **災害で機能を失う医療施設こそ、最もコストのかかる医療施設である!**

Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives

2008-2009 World Disaster Reduction Campaign  
Hospitals Safe from Disasters

詳細は下記のウェブサイトへ

<http://www.safehospitals.info>

本キャンペーンの保健・防災ネットワークへのご参加は下記のウェブサイトへ

<http://groups.preventionweb.net>

Reduce Risk, Protect Health Facilities, Save Lives